

## 教育活動評価集計結果のお知らせ

平成19年9月3日  
京都市立植柳小学校  
校長 今井 良三

長い夏休みも終わり、学校には元気な子どもたちの笑顔が戻ってきました。保護者・地域の皆様には、平素より本校教育推進のため、ご理解・ご協力・ご支援いただき、厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、夏休み前に、ご協力賜りましたアンケート(教育活動評価)の集計が以下のようにまとまりましたので、ご報告させていただきます。

なお、保護者の皆様のほか、本校教職員と子どもたちの集計についても同時に行いました。こうした結果をもとに、これからの教育活動をより一層充実させていきたいと教職員一同決意を新たにしております。

A しっかりできている                      B どちらかといえばできている  
C どちらかといえばできていない      D ほとんどできていない

\*各表の数値は、100%の割合を基準にしていますが、数値処理の関係上合計が100%にならない場合(99.9や100.1)があります。

1. 保護者: 学校や学年からのたより等は学校や学年のことをわかりやすく伝えている。  
教職員: 学校教育目標やめざす子ども像をいつも意識して教育活動を行っている。  
子ども: 毎日、学校に楽しく行っている。

	保護者	教職員	子ども
A	63.2	33.3	82.1
B	35.5	66.7	16.7
C	1.3	0	1.2
D	0	0	0

< 考察 >

・保護者、教職員ともに本校のめざすこどもの姿(瞳を輝かせていきいきと活動する子)の実現を意識した教育が行われている一定の評価が得られました。それを裏付けるように、子どもでは、A 82.1% B 16.7% 計 98.8% が楽しく学校に行っていると答えています。

本校は、病気による欠席はあるものの、それ以外の欠席はなく、遅刻もない状態が続いています。これは、毎日送り出していただいている保護者のご協力のおかげであると感謝しています。また、同時に、毎日の地域の皆様の登校時下校時での「見守り活動」のおかげでも感謝しています。ただ、保護者・子どもの中でCの評価をいただいたことは、今後の取組にいかし、より一層の努力が必要であると考えています。

2. 保護者: 学校では、子どものよさや可能性を伸ばすよう教育活動が行われている。  
教職員: 一人一人の子どものもつよさや可能性を伸ばす努力をしている。  
子ども: 自分のよいところを学校で出せている。

	保護者	教職員	子ども
A	44	41.7	53.6
B	54.7	58.3	29.8
C	1.3	0	13.1
D	0	0	3.6

< 考察 >

・小規模校のよさである、一人一人を徹底的に大切にしたいきめの細かい教育活動がなされているかを評価していただきました。保護者・教職員ともにAとB計98%を越える結果でした。

しかし、子どもの中には、自分のよさを「どちらかといえば出せていない」と13.1%の子が答えています。大人が「あなたはこんなところによさがある」といった一人一人のよさを伝えていく努力が必要であると思います。

子どものよさや可能性を子ども自身が意識していくと、よく言われる「自尊感情」が生まれ、将来生きていくうえでも自信がより確かなものとなり「生きて働く力」とつながっていくと考えます。

3. 保護者: 学校は、保護者・地域の願いに応えるよう努力している。  
教職員: 保護者・地域の願いに応えるよう努力している。  
子ども: 学校や学年をよりよくしようと努力している。

	保護者	教職員	子ども
A	31.6	30.8	53.7
B	63.2	69.2	30.5
C	5.3	0	11
D	0	0	4.9

< 考察 >

・保護者・地域の皆さんの願いは多種多様であると思います。しかし、子どもたちがよりよく学校生活を過ごすことは、教職員を含め全ての方の願いではないでしょうか。

子どもの中には、CとDを合わせて15.9%の子が努力できていないと答えています。  
問2.ともつながりますが、一人一人が学校生活の中で何かをやり遂げる経験を多く積むこと、そして、かけがえのない存在であると周囲から認められることが大切です。  
教職員はこうした子どもの姿を実現すべく日々取組を行っています。次回1月にも同じようにアンケートを行う予定です。その時には、自信をもってAを選択できることを願っています。

4. 保護者: 学校では、人権教育の取組が積極的に行われている。  
教職員: 人権教育の取組を積極的に行っている。  
子ども: 自分や友だちをたいせつにし、いのちをたいせつにしている。

	保護者	教職員	子ども
A	26.4	45.5	84.3
B	72.2	54.5	12
C	1.4	0	1.2
D	0	0	2.4

<考察>

・自分や友だちを大切に、全ての「いのち」を大切にしていると答えた子がA 84.3% B 12.0% 合わせて96.3%が答えてくれました。とても嬉しい限りです。

人権教育の取組というと漠然としてあまりイメージができないと思われる保護者もおいでになるでしょう。教科での指導も含め、学校での教育活動全てが人権尊重という意識で行われている。ということだと思います。その結果として子どもたちの「やさしさ」や「素直さ」が育っている。と言えるのではないのでしょうか。  
今後も引き続き人権教育を積極的に進めていきたいと思ひます。

5. 保護者: 家庭では、学校や学年のたより等に目を通すようにしている。  
教職員: 学校や学級の様子がよくわかるようにたより等を工夫している。  
子ども: 学校や学年のたよりをしっかり見ている。

	保護者	教職員	子ども
A	66.2	40	56.4
B	29.9	60	36.2
C	3.9	0	6.4
D	0	0	1.1

<考察>

・ここでは、それぞれが学校の情報を発信・受信できているかを問う質問となっています。多くの保護者の皆様や子どもたちはしっかり受け取っていただいています。今後も、受信いただいている皆様にしっかり受け

取っていただけるよう、更なる工夫をいたします。

6. 保護者: 家庭では、健康(早寝・早起き・朝ごはん等)や安全によく配慮している。  
教職員: 子どもの健康や安全によく配慮している。  
子ども: 自分のけんこう(はやね・はやおき・朝ごはん)や安全に気をつけて生活している。

	保護者	教職員	子ども
A	36.8	46.2	50
B	42.1	53.8	32.1
C	21.1	0	8.3
D	0	0	9.5

<考察>

・ここでも、それぞれが健康・安全という大切な要素を行えているかを問う質問となっています。残念ながら、保護者の21.1%およそ5人に1人がCと答えられています。

特に、基本的な生活習慣で「早寝・早起き・朝ごはん」が気になるところです。

7. 保護者: 学校は、環境整備(清掃・整理整頓)が十分に行われている。  
教職員: 環境整備(清掃・整理整頓など)を十分整えている。  
子ども: 学校や家では整理整頓をしっかりとできている。

	保護者	教職員	子ども
A	27.6	23.1	34.5
B	69.7	69.2	40.5
C	2.6	7.7	9.5
D	0	0	15.5

<考察>

・学習環境を整えることは、子どもたちの学力向上に大きく影響します。アメリカに「割れ窓理論」という防犯理論があります。割れた窓をそのまま放置しておく、そこは、人の目が行き届かない所とされ、犯罪が多くなるというのです。

この理論を検証したのが、ニューヨークの地下鉄の落書きです。落書きを放置せず、書かれたらすぐ消すことを続けたら、地下鉄内での犯罪も激減し、都市自体も治安がよくなったということです。落し物やごみそのままの教室。掲示物が破れたままの状態では学習にも影響があります。子どもたちと清掃活動や整理整頓をしっかりと行っていきます。

8. 保護者:子どもは、学校生活を楽しんでいる。  
 教職員:子どもが、学校が楽しいと言える教育活動を行っている。  
 子ども:学校の行事に楽しく参加している。

	保護者	教職員	子ども
A	87	45.5	92.5
B	10.4	54.5	5
C	2.6	0	1.3
D	0	0	1.3

<考察>  
 ・本校の子どもたちは、どの行事や催しにも積極的に参加しています。  
 どんな行事が楽しいですかという質問には「部活動運動会・学芸会」などを答えていました。  
 また、どの学年も「植柳まつり」の集会活動を楽しみに

にしていることがわかりました。  
 問1とも関連しますが、多くの子どもたちが学校生活を楽しんでいる様子がわかります。大変嬉しいことです。

9. 保護者:家庭では、子どもとのふれあいや対話をもつよう努力している。  
 教職員:子どもとのふれあいや対話をもつようにしている。  
 子ども:先生やともだちと楽しくすごせている。

	保護者	教職員	子ども
A	50.6	70	80.7
B	42.9	30	15.7
C	6.5	0	3.6
D	0	0	0

<考察>  
 ・ここでは、それぞれの立場で対話やふれあうことの大切さを問う質問をしました。  
 保護者・教職員・子どもともに努力している様子がわかります。

10. 保護者:子どもたちは進んで挨拶をしている。  
 教職員:子どもに笑顔であいさつや声かけができています。  
 子ども:自分からあいさつや声かけができています。

	保護者	教職員	子ども
A	27.3	71.4	72.3
B	63.6	28.6	21.7
C	9.1	0	2.4
D	0	0	3.6

<考察>  
 ・「おはようございます」からはじまり「こんにちは」「いただきます」「さようなら」等学校だけでなく、家庭・地域などでのさまざまなあいさつがあります。学校では、しっかりあいさつできているようですが、家庭・地域でのあいさつはいかがでしょう。

11. 保護者:教職員は子どもにわかりやすい工夫した授業をしている。  
 教職員:子どもにわかりやすい工夫した授業を行っている。  
 子ども:先生の話をしっかりきけている。

	保護者	教職員	子ども
A	56.6	44.4	64.3
B	43.4	44.4	23.8
C	0	11.1	7.1
D	0	0	4.8

<考察>  
 ・教職員による授業改善は重要です。子どもたちが授業中先生の話がしっかりきけているということは工夫された授業ができているということではないでしょうか。

それが、学習成果にもつながります。教職員はそれぞれ日々の授業改善を行っていますが、より一層、子どもにわかりやすい授業を進めていくよう努力します。

12. 保護者:学校には、子どものことで何でも気軽に相談できる。  
 教職員:保護者や地域の人が相談しやすいようにしている。  
 子ども:先生には何でもよく相談できる。

	保護者	教職員	子ども
A	44	25	47.6
B	44	75	38.1
C	12	0	8.3
D	0	0	6

<考察>  
 ・学校は、子育て支援のステーション的役割をもちます。皆さんがお困りのことがありましたら、遠慮なくご相談ください。

13. 保護者: 家庭では、地域行事に進んで参加させるようにしている。  
 教職員: 家庭訪問や地域行事への参加を積極的に行っている。  
 子ども: 地域の行事にすすんで参加している。

	保護者	教職員	子ども
A	31.6	22.2	60.7
B	52.6	55.6	15.5
C	11.8	22.2	7.1
D	3.9	0	16.7

< 考察 >

・多くの子どもたちが地域の「夏祭り」の参加やプール開放等の行事に進んで参加しています。今後とも、家庭・学校が地域行事への積極的な参加を行うことが大切です。また、土曜日などの休日は、塾や習い事・スポーツ活動

を行ってなかなか地域行事に参加できにくいこともあるかもしれません。そのような場合、地域行事に参加できなくても、有意義な休日を過ごせていると思います。

14. 保護者: 子どもの服装や言葉遣いは適切である。  
 教職員: 服装や言葉遣いはいつもきちんとしている。  
 子ども: ふくそうや言葉づかいはちきんとしている。

	保護者	教職員	子ども
A	15.8	21.4	46.3
B	75	78.6	37.8
C	9.2	0	11
D	0	0	4.9

< 考察 >

・ご家庭では、正しい言葉遣いについてよくご指導いただいていることがわかります。教職員も常に子どもにとって「最も身近な教育環境は教職員である」ことを意識しながら教育活動を行っていききたいと思います。

15. 保護者: 家庭でのきまりや約束は、徹底して守らせている。  
 教職員: きまりや約束は、徹底して指導している。  
 子ども: きまりややくそくは、しっかり守れている。

	保護者	教職員	子ども
A	21.3	53.8	60.7
B	60	38.5	31
C	17.3	7.7	6
D	1.3	0	2.4

< 考察 >

・学校でのきまりや約束については、子どもたちはよく守れているようです。しかし、家庭でのきまりや約束となると少し不安がありそうです。「きまりや約束を守る」ことがよりよい学校生活や家庭生活を過ごすことにつながり、結果として

「自分や他の人を守る」ことになるということを、子どもたちに伝えていきたいですね。

以上、お答えいただいた15の質問について結果をお知らせいたしました。

その他として、自由記述欄に温かいお言葉や励まし、お礼、気になる点やご意見などいただきました。本当にありがとうございました。

今回のアンケートの中で、学校として改善しなければならない点を前期後半と後期にかけて確実に実行し、植柳小学校の教育活動を保護者・地域の皆様とともに行い、よりよい学校づくりに励んでいきたいと思っております。

今後とも温かなご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。